

## 様式第2号（第9条関係）

## 会議録

会議の名称	令和6年度第3回ふじみ野市放課後子ども教室運営委員会会議			
開催日時	令和7年3月26日（水） 開会時刻 午前10時00分 閉会時刻 午前10時50分			
開催場所	ふじみ野市立西小学校1階家庭科室			
出席した者の 氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
	委員長	青柳一美	事務局 (課長)	木村裕之
	副委員長	山崎博	事務局 (副課長)	小林久美
	委員	柳川智哉	事務局 (主事)	近藤彩香
	委員	北見由美子	事務局 (会計年度 任用職員)	宮内菊枝
	委員	原田喜久男	統括コー ディネーター	伊藤照子
	委員	吉田和実		
	委員	船津誠		
会議の議題	議事 1 令和6年度3学期の放課後子ども教室の活動状況について 2 令和7年度放課後子ども教室の活動予定について 3 その他			
会議の公開又は 非公開の別	公開			
会議の非公開の 理由				
傍聴人の数	0人			
会議の内容	別紙のとおり			
会議資料	別添のとおり			
事務局	教育部社会教育課			

議 事 の 確 定	確定年月日	令和7年3月31日
	記名押印 又は署名	役職名  議長 青 柳 一 美 ㊟  ※自署の場合は、押印不要です。

別紙

発言者	発言の要旨
事務局 (小林)	開会及び会議の成立の報告 ・出席者7名、欠席者4名で会議成立と傍聴者0名を報告
事務局 (木村)	開会挨拶
青 柳 委員長	進行 ・配布資料の確認
事務局 (近藤)	配付資料の確認
青 柳 委員長	議事進行 議事(1) 令和6年度3学期の放課後子ども教室の活動状況について
事務局 (近藤)	資料1「令和6年度3学期放課後子ども教室運営報告及び令和7年度の変更点について(表面)」、「令和6年度3学期ふじみ野市放課後子ども教室全校活動報告」に基づき3学期末時点の開室状況、ケガ等の報告、指導員の体制について説明。
青 柳 委員長	議事進行 質疑応答(質疑無し)
事務局 (近藤)	議事進行 議事(2) 令和7年度放課後子ども教室の活動予定について
事務局 (近藤)	・資料1「令和6年度3学期放課後子ども教室運営報告及び令和7年度の変更点について(裏面)」に基づき、新設の「学区外手当」について説明。 ・資料2「令和7年度募集用リーフレット」に基づき、新年度開始までのスケジュール等について説明。
青 柳 委員長	議事進行 質疑応答(質疑無し)

青 柳 委員長	議事進行 議事（３）その他
事務局 （小林）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 亀久保小、福岡小の放課後児童クラブの登録が非常に増えている状況があり、放課後子ども教室の開催曜日以外は使用教室を共用することで調整を進めている。開催曜日は体育館の使用等についても調整が必要となってくるため、子育て支援課、放課後児童クラブとの連携を密に取っていききたい。</li> <li>・ 新年度の会議については年３回を予定。第１回は１学期の活動が終了後に、第２回では実際の現場の視察を予定。</li> </ul>
青 柳 委員長	議事進行 質疑応答
船津委員	<p>亀久保小、福岡小の放課後児童クラブについては、定員に対して多くの登録があった。しかし実際の登室率は６～７割である。万が一定員を上回る児童が登室した場合には、放課後子ども教室を優先に、空いている日に共用させていただく場合があるので、連携を取っていききたい。</p>
青 柳 委員長	<p>１年間現場で活動し、子どもの成長を感じた。低学年の児童が学期末には高学年の児童とコミュニケーションを取ったり、一緒に遊んだりすることができた。</p>
事務局 （小林）	<p>昨日指導員代表者会議があり、今年度の振り返りを行った。その中で、多くの学校の指導員から青柳委員と同様に、「子どもの成長を感じた」という声が上がった。</p> <p>（一部抜粋）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高学年の児童がリーダーシップを発揮して児童の中心で遊んでくれている。</li> <li>・ 低学年から参加している児童の成長を感じることもできた。</li> <li>・ 特別な支援を必要とする児童を受け入れることに不安があったが、特別支援サポーターの助けもあり、年度末には保護者から感謝のお手紙をいただき、保護者の方にも児童の成長を感じてもらうことができた。</li> </ul>
事務局 （木村）	<p>中国籍の姉妹が参加しており、コミュニケーションが難しかったが、上記の特別支援サポーターが中国語を話すことができたため、心を開く</p>

伊藤統括 コーディネーター	<p>ことができ、学校生活に慣れる手助けができたのではないか。</p> <p>週に1回の活動を児童が待ち望んでくれていて、児童の大切な居場所になっていることを実感できた。外遊びが好きな児童が多く、指導員にとっても見守りをしながら一緒に遊ぶこと身体を動かす機会になっている。</p>
事務局 (宮内)	<p>2学期には文京学院大学との連携を行い、大学生が教室に参加した。児童はすぐに大学生と打ち解けて、たくさん遊んでもらって喜んでいった。ただ参加するだけでなく、企画も実施してもらったが、アイデアが素晴らしい。放課後児童クラブとの交流も兼ねていけるとより良い。今後も継続していきたい。</p> <p>高学年のリーダーシップの話があったが、指導員はそれを育て、引き出すのが上手い。高学年の児童が他の児童に声を掛けるなど、とてもいい形ができていた。</p>
事務局 (近藤)	<p>学校を休みがちで登校が難しい児童が放課後子ども教室に参加し、他の児童と一緒にその日の企画や工作などを楽しむことができたというケースがあった。「安心安全な居場所づくり」という事業の目的に合った形で運営できていると感じた。</p>
山崎 副委員長	<p>指導員として参加している小学校で、「もっと外で遊びたい」という理由で退室した児童がいた。気候や安全面から校庭よりもグラウンドの方が指導員としては安心だが、ある程度校庭での活動時間も確保する必要があると感じた。</p>
青柳委員 長	<p>放課後子ども教室が始まった当初、放課後子ども教室と放課後児童クラブで校庭でのルールが異なり、児童同士のトラブルが生じたことがあった。現在は1学期の活動が始まる前に学校・放課後児童クラブ・放課後子ども教室での「三者の会」という打合せの場を設けているためそのようなことはないと思うが、引き続き注意していきたい。</p> <p>文京学院大学の参加についても、できる限り全ての学校に参加できるよう調整していただきたい。</p> <p>支援を要する児童の受け入れについては、指導員の体制によって難しい場合があり、どのように受け入れていくのか検討を続けていく必要がある。</p>
吉田委員	<p>令和7年度の指導員体制について、1名退任、1名登録の現状維持と</p>

	<p>の説明があったが、ボランティアを希望する人は多いのか。</p> <p>この活動には児童の成長や保護者からの感謝の言葉などお金ではない見返りがあり、生きがいや誰かの役に立っているという気持ちがボランティア活動を支えている。子どもと関わる仕事を目指す学生も児童と関わることで自分の将来に向けた糧になる。しかし、近しい活動内容である放課後児童クラブで働く人には「給与」、放課後子ども教室で活動する人には「謝礼」という大きな違いや差があるのはとても残念に思う。聞きかじりだが、放課後児童クラブは特別な支援を要する児童が入室した場合には補助金の交付が受けられ、人的・物的な配慮を受けられると聞いた。放課後子ども教室にも特別な支援を要する児童が入室した場合には、そういった配慮が必要ではないか。また、ボランティアとしてのやりがいなどをもっと広報していくことで人材確保に繋がるのではないか。</p>
青柳委員長	<p>若い世代は働いている人が多く、声を掛けることができるのは年配の方になるが、児童と遊んだり走り回ったりすることがハードルになってしまう。色んな学校を兼務している方もいるので、指導員の確保は引き続きお願いしたい。</p>
吉田委員	<p>現在の指導員の人脈の中だけでは閉じた関係になってしまい、新しい人が中に入っていきにくくなる状況も考えられる。広く自分たちの活動の良さをアピールして行ってほしい。</p>
原田委員	<p>自治会からの代表で参加しているが、子どもたちがこのような活動で元気よく遊んでいる様子を見ると安心する。こういった活動を応援してくれるボランティアの方が増えればなお良いと感じた。</p>
北見委員	<p>放課後児童クラブと放課後子ども教室の交流が始まった当初は、児童同士のトラブルもあったが、今は「三者の会」での打合せや、放課後児童クラブの職員と放課後子ども教室の指導員が顔見知りになってコミュニケーションを取ることでそういった話は聞かなくなったので、大変良いことだと思っている。</p> <p>放課後児童クラブの職員は児童にかかわる色々な課題についての内部・外部研修を毎年重ねている。放課後子ども教室の指導員対象の研修というのは実施しているのか。</p>
事務局 (小林)	<p>夏に1回全体研修を実施している。近年は「子どもへの声のかけ方」、「特別な支援を要する児童への対応」などについての研修を行った。</p>

北見委員	子どものことを知れば受け入れられる場合もあるし、知らないから注意できないというのはもったいないと思うので、そういった研修があってもいいのではないか。
柳川委員	コロナ禍で統括責任者となり、運営委員会にも参加するようになったため、今年度初めて実際の教室の様子を見させてもらった。放課後児童クラブの巡回で様子を見ることはあったが、実際に教室の中で活動を見ることができて良かった。来年度以降も良い関係性を築き交流していきたい。
青柳委員 長	議事進行 閉会
山 崎 副委員長	閉会の挨拶